

緊急シンポジウム 「ガザ停戦と人道支援の完全再開を」

趣旨：2023年10月7日のハマスによるイスラエルへの越境攻撃と、その後のイスラエル軍によるガザへの攻撃で、1200人以上のイスラエル市民と、5万4千人ものガザの住民が死亡しています。2025年3月2日に、ガザへの人道支援の搬入もイスラエル政府の政策でストップし、3月18日からはガザへの激しい軍事攻撃が再開され飢餓も広がり、国連は「このような悲惨な事態は一刻も早く止めるべき」と再三訴えています。5月19日には、イギリス、フランス、カナダが「停戦と人道支援の再開」をイスラエル政府に求め、対応しない場合、制裁も検討するという初めての共同声明を出しました。日本政府も、これと同じような方針を持つべきかも含め、現地スタッフと連絡を日々とっている日本のNGO団体とUNRWAの清田保健局長と共に、日本の役割について議論します。

■ご発表:

■ UNRWA（パレスチナ難民救済事業機関）

清田明宏 保健局長（2024年度読売国際協力賞受賞）

■ パルシク（糸井志帆 氏）

■ ピースウィンズジャパン（内海旬子 氏）

■ セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（金子由佳 氏）

■ 日本国際ボランティアセンター（高橋千絢 氏）

■ 司会・統括：東大作 上智大学グローバル教育センター教授

2025年6月5日（木）19:05—21:05（日本時間）

場所：上智大学四谷キャンパス6号館 6-405教室

方法：対面とオンラインの併用。対面の方は直接会場にお越し下さい。

オンラインの方は、以下のリンクやQRからご登録下さい（登録されると事前にズームリンクをお伝えします。要事前予約。）

主催：上智大学国際関係研究所 共催：上智大学人間の安全保障研究所

Japan Global Dialogue (NPO)

お問合せ：上智大学国際関係研究所 iir-ofc@sophia.ac.jp

